

公益社団法人私立大学情報教育協会
平成 30 年度第 1 回情報セキュリティ研究講習会運営委員会議事記録

- I. 日 時：平成 30 年 4 月 19 日（木） 14：00 ～ 16：00
II. 場 所：私立大学情報教育協会 事務局会議室
III. 参加者：浜委員長、入澤委員、根本委員、服部委員、沼委員、市川アドバイザー
（事務局）井端事務局長、野本（記）

IV. 検討事項

昨年度の研究講習会結果を振り返り、今年度開催の骨子や概要について意見交換した。

(1) 昨年度の振り返りとアンケートの確認からの意見

- ・ 分析コースでは、手を動かす演習も求められていることを確認した。
- ・ 政策運営コースでは、自分たちができることを実行しようという準備ができた、切り分けることの判断基準等が習得できた。
- ・ 総合演習では、分析コース参加者には難しいとの感想があり、講習全体の位置づけなどの説明が求められた。
- ・ 参加者により、知識・経験の違いがあることから、区切りとしてまとめの説明を行う必要性を感じた。
- ・ 参加者の希望としては、事例、討議内で他大学の情報収集、自大学の研修への活用、自ら調べる方法の習得、予算関連、PDCA による対応フローの熟成などがあった。
- ・ クラウドとセキュリティについての視点も含めてはどうかなどの意見があった。

(2) 今年度の研究講習会、骨子、概要、日程、場所などについて

- ・ 今年度の開催は、8 月 28、29 日に学習院大学で開催することにした。（後日、私立大学キャンパスシステム研究と日程が近いことから、前の週も含め再調整をしている）
- ・ 今年度の取り組みとして、ベンチマークの継続（3 年目）、セキュリティポリシー、平常時のロールプレイが提案された。
- ・ 政策運営コースでは、平常時の対応としてのセキュリティポリシーやガイドラインについて、経営層へ訴求する投資やコスト関連について取り上げてはどうか。
- ・ 分析コースでは、トレンド的なテーマを取り上げてはどうか。
- ・ 例えば、コストの問題など、ケースで切り分けを行い、クラウドの活用など演繹的な分岐点の例示などが整理できないか。また、セキュリティ対策の要として、構成や体制などを規模別に示せないか。
- ・ 基本的な考えの定着として、基本的に何をなすべきか、センターから各部署にどのように伝えたら良いか検討してはどうか。
- ・ 著作権を含めたコンプライアンスの問題も関係してくるのではないか。
- ・ 運営の課題として、1 日目午後などに総合演習を含めた講習全体のストーリーや討議・演習の位置づけを説明する時間を設定してはどうか。
- ・ 大学のセキュリティ人材としては、知識、技能を含めどの程度のレベルが求められているのか。
- ・ 日常的、非常時、コスト含めた対応について、ベンチマークの項目を使った対策が考えられることから、ベンチマークの有効な大学や新たな取り組みを記述させ、紹介できないか。また、今年度の目標として評価を向上させたい項目を回答させてはどうか。

V. 次回のスケジュール

次回の委員会は、メールで調整し、5 月 22 日に行うことにし、開催要項作成に向けて講習概要を継続検討することにした。